

京都大学の知にふれる

恐れ・無知 ・合理性

無料
オンデマンド
配信

ご自宅よりインターネットで
視聴いただけます

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、自粛警察、マスク買占めなど、平常時には起こりえないような混乱を引き起こす一方、妖怪アマビエをきっかけにした、疫病の歴史への関心も強まりました。

このように人間は、いつの時代も、混沌とした状況において、どうにか合理的に物事を考えようとしつつも、非合理的な判断や行動をしてしまうことがあります。歴史と脳科学という異なる観点から、今身につけるべき「冷静に物事を見つめる力」を考えてみませんか。



講師

高谷 知佳

法学研究科 准教授

「恐れ」を歴史から読み解く

2020年、我々は新型コロナという病を前に、各々の立場から、さまざまな思考や議論を重ねました。過去の人々も、戦乱や疫病という脅威に対し、神仏の怒りを恐れたり、歴史を調べあげたり、恐れを喧伝して権益を得たりしていました。本講義では、中世の京都を舞台に、「恐れ」をめぐる人々のさまざまな思考をたどります。



講師

阿部 修士

こころの未来研究センター 准教授

意思決定を支える脳のメカニズム — 道徳的判断の研究事例から —

わたしたち人間の合理的な意思決定には限界があります。例えば「1人の命を犠牲にしても5人の命を救うべきか」といった道徳的判断においては、非合理的な意思決定の側面が浮き彫りになります。本講義では、これまでの心理学や神経科学の研究で得られた知見をもとに、人間の意思決定のメカニズムについて解説します。

申込・配信期間

令和3年 4月26日(月) 9:00 ▶ 7月30日(金) 17:00

ホームページよりお申込後、ご登録のメールアドレスに届くURLより視聴ください。

🔍 京大 春秋講義 🔍 検索



お問い合わせ先

京都大学総務部渉外課 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL: 075-753-2606 (月曜日～金曜日 9:00-17:00)

E-mail: event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

京大力、新輝点。



大学の知恵@京都
京都大学